

# 事務事業評価シート

評価実施年度：平成29年度

上位の施策名称	施策I-1-1 企業の競争力強化
---------	---------------------

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	しまねブランド推進課長 福岡 直	電話番号	0852-22-6858
----------	------------------	------	--------------

事務事業の名称	国際経済交流促進事業		
目的	(1) 対象	県内企業	
	(2) 意図	企業経営の国際化を図る	
事業概要	<p>○本県からの輸出拡大を図るため、海外取引に意欲を持つ県内企業の自立的取組を支援する。</p> <p>○県内企業の海外取引を促進し、本県産業の振興を図るため、JETRO松江の運営に係る経費及びしまね産業振興財団が実施する国際経済事業に要する経費を助成する。</p> <p>○県内企業の貿易・投資実態を把握し、貿易振興施策の基礎資料とするため、海外展開概況調査を実施する。</p> <p>○地元港活用による県内企業の貿易に係る利便性向上のため、同港の利用促進を行う境港貿易振興会の活動に要する経費を助成する。</p>		

## 2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	
1	指標名	県内企業の貿易実績企業数	目標値	180.0	185.0	190.0	195.0	200.0	社
	式・定義	(島根県海外展開概況調査)	取組目標値						
			実績値	183.0	187.0				
2	指標名	輸出を行う県内事業者数	目標値			152.0	160.0	168.0	社
	式・定義	(島根県海外展開概況調査)	取組目標値						
			実績値	140.0	144.0				
			達成率	101.7	101.1	-	-	-	%
			達成率	-	-	-	-	-	%

## 3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	38,657	42,577
うち一般財源 (千円)	38,657	42,577

## 4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

## 5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

<p>平成28年度しまね海外販路開拓支援補助金実績 応募件数：13件 採択件数：13件(食品製造 5件 工芸品 1件 農林水産業 3件 その他 4件)</p> <p>平成28年度貿易投資相談実績 ジェトロ松江：352件(前年度265件) しまね産業振興財団：99件(前年度52件)</p> <p>平成28年度境港貿易実績 コンテナ貨物取扱本数：24,924本(過去最高)</p>
---

## 6. 成果があったこと(改善されたこと)

<p>・しまね海外販路開拓支援補助金の活用により、県内事業者の販路拡大が進展</p> <p>新たに取組を開始した企業：4社</p> <p>・ジェトロ松江及びしまね産業振興財団の活動を支援することで、県内事業者の海外取引が進展</p>
--

## 7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

<p>①困っている「状況」</p> <p>&lt;海外取引支援&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>企業が海外販路開拓に新たに取組む際にかかる経費について負担感が大きい。</li> <li>ジェトロ松江としまね産業振興財団への貿易投資相談件数が増加しており、十分な対応ができていない。一方で、商工会議所等地域の窓口には専門的な知識がなく、十分な対応ができていない。</li> </ul> <p>&lt;境港利用&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新たに境港を利用する島根県内企業が少ない。</li> </ul>
<p>②困っている状況が発生している「原因」</p> <p>&lt;海外取引支援&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国内に比べて旅費等の経費が多額となるうえ、成果が出るまで時間を要する。</li> <li>事業者の業種やターゲットとする市場・取引の手法などが多様化、高度化している。</li> <li>海外展開に関する様々な相談や問い合わせ等に対して、支援人材が不足している。</li> </ul> <p>&lt;境港利用&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>境港利用を比較検討する上で、県内企業への情報提供が不十分。</li> </ul>
<p>③原因を解消するための「課題」</p> <p>&lt;海外取引支援&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>特に販路開拓初期にかかる費用負担を軽減し、輸出に取組む企業を増やしていく必要がある。</li> <li>多様化する事業者のニーズに応じてきめ細やかな支援を実施する必要がある。</li> <li>情報共有や役割分担の見直しと併せ、支援機関が機能強化・連携をしていく必要がある。</li> </ul> <p>&lt;境港利用&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県内企業への境港のPRを強化する必要がある。</li> </ul>

## 8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

<p>・海外取引を開始又は拡大する事業者に対する補助金を拡充する。</p> <p>・国際化支援アドバイザーによる支援を充実させ、事業者等からの専門的な課題の解決を図る。</p> <p>・商工会議所等、相談窓口となる地域の支援機関の専門性を向上させ、初期課題の早期解決を図る。</p> <p>・行政、ジェトロ松江、しまね産業振興財団等の各機関が必要な情報共有を行い、事業者の様々な課題に対して連携して対応する体制を構築。</p> <p>・境港貿易振興会による、県内事業者等へのポートセールス活動への支援を引き続き実施。県内で開催されるセミナーでのPRを実施。</p>
--